

授業科目名	【G】 情報教育法 I (2023年度生以前カリキュラム) 【G・H】 情報科指導法 I (2024年度生以降カリキュラム) 【I】 情報科指導法 I (2024年度生以降カリキュラム)	区分	開講年次	【G】2 【G・H】3 【I】3	単位数	【G】2 【G・H】2 【I】2
科目区分	教科及び教科の指導法に関する科目					
授業形態	対面開講					
担当形態	単独	【G】 教員の免許状取得のための必修科目(-----情報) 【G・H】 教員の免許状取得のための必修科目(-----情報) 【I】 教員の免許状取得のための必修科目(-----情報)				
施行規則に定める科目区分又は事項等	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)					
サブタイトル	高等学校情報科における基礎力の育成			担当者	加納 久子	
授業概要	【概要】	本授業は、教科「情報」の教員免許を取得するための教職必修科目です。「情報科指導法 I (情報教育法 I)」および「情報科指導法 II (情報教育法 II)」を通して、情報科教員として求められる知識・技能や態度を体系的に身に付けます。あわせて、情報科全体の目標や内容を踏まえ、適切な学習指導と評価を行うための指導方法を修得します。				
	【到達目標】	学習指導要領を理解し、教育実習で授業を担当できるようになることが最終目標ですが、そのためには共通教科「情報」に関わる知識だけでなく、コンピュータやネットワークに関する知識・ICT機器の操作能力が必須です。これらの知識・操作能力が不足している場合には、それを補強しなければなりません。授業中あるいは授業外の場で不足する知識・操作能力を修得しましょう。				
履修条件	①4年次に教育実習へ参加予定であること ②「情報科指導法 II (情報教育法 II)」を履修予定であること、または既に単位を修得していること ③全回出席を原則とし、遅刻・欠席をしないこと。やむを得ない事情で欠席する場合は、事前に連絡すること ④授業内の活動に主体的に参加し、円滑なコミュニケーションを図れること ⑤適切なビジネスマナーに基づいたメール文が作成できること					
アクティブラーニングの方法	【-】 事前学習型	【-】 反転授業	【○】 調査学習	【-】 フィールドワーク		
	【-】 双方向アンケート	【-】 グループワーク	【-】 対話・議論型授業	【-】 ロールプレイ		
	【○】 プレゼンテーション	【-】 模擬授業	【-】 PBL	【-】 その他		
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	- (当てはまらない)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)				
他科目との関連性	情報科指導法 II (情報教育法 II)、教育実習					
教科書	1) 赤堀侃司ほか (2026) 『情報 I Step Forward!』 令和8年度用高等学校教科書 [情 I 002-902] 東京書籍 2) 鹿野利春ほか (2022) 『情報科教育法：これからの情報科教育』 実教出版					
参考書	1) 文部科学省 (2019) 『高等学校学習指導要領 (平成30年告示) 解説 情報編』 開隆館出版 2) 文部科学省 『高等学校情報科「情報 I」教員研修用教材』 3) 文部科学省 『高等学校情報科「情報 II」教員研修用教材』 その他、必要に応じて授業の中で紹介します。					
評価方法	発表および課題を90%、授業への参加態度を10%として評価し、総合的に判定する。					
フィードバック方法	Google Classroomを使用し、課題のフィードバックを行う。					
評価基準	上記評価方法に従い、参加態度が良好で授業内容について到達目標に達することができた者にはその程度に応じてSまたはAとする。一部不十分な参加態度や到達度がある者については、その程度に応じてBまたはCとする。それらが著しく低い場合には、その程度に応じてDまたはEとする。評価不能の場合はFとする。なお、単位認定にあたっては、課題の提出状況や内容、授業への参加態度を踏まえつつ、教育者として求められる責任感や倫理観、誠実な取り組み姿勢についても総合的に評価します。					

授 業 科目名	【G】 情報教育法 I (2023年度生以前カリキュラム)	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
	【G・H】 情報科指導法 I (2024年度生以降カリキュラム)			【G・H】3		【G・H】2
科目名	【I】 情報科指導法 I (2024年度生以降カリキュラム)			【I】3		【I】2
授業回数	授業内容					
1	ガイダンス・イントロダクション、情報科をなぜ学ぶのか					
	予習:	授業資料を読み、不明点や疑問点について調べる。	復習:	授業内容を振り返り学修した内容を整理する。		
2	情報科教育の背景					
	予習:	教科書・資料を読み不明な語句や疑問点について調べる	復習:	授業内容を振り返り学修した内容を整理する。		
3	情報科教育の体系と構成					
	予習:	教科書・資料を読み不明な語句や疑問点について調べる	復習:	授業内容を振り返り学修した内容を整理する。		
4	共通教科情報科の目標と内容					
	予習:	教科書・資料を読み不明な語句や疑問点について調べる	復習:	授業内容を振り返り学修した内容を整理する。		
5	専門教科情報科の各科目					
	予習:	教科書・資料を読み不明な語句や疑問点について調べる	復習:	授業内容を振り返り学修した内容を整理する。		
6	学習指導と学習評価					
	予習:	教科書・資料を読み不明な語句や疑問点について調べる	復習:	授業内容を振り返り学修した内容を整理する。		
7	学習と評価の計画					
	予習:	教科書・資料を読み不明な語句や疑問点について調べる	復習:	授業内容を振り返り学修した内容を整理する。		
8	授業の内容理解(1)(情報社会の問題解決)					
	予習:	教科書・資料を読み不明な語句や疑問点について調べる	復習:	授業内容を振り返り学修した内容を整理する。		
9	授業の事例と学習指導(1)(情報社会の問題解決)					
	予習:	教科書・資料を読み不明な語句や疑問点について調べる	復習:	授業内容を振り返り学修した内容を整理する。		
10	授業の内容理解(2)(コミュニケーションと情報デザイン)					
	予習:	教科書・資料を読み不明な語句や疑問点について調べる	復習:	授業内容を振り返り学修した内容を整理する。		
11	授業の事例と学習指導(2)(コミュニケーションと情報デザイン)					
	予習:	教科書・資料を読み不明な語句や疑問点について調べる	復習:	授業内容を振り返り学修した内容を整理する。		
12	授業の内容理解(3)(コンピュータとプログラミング)					
	予習:	教科書・資料を読み不明な語句や疑問点について調べる	復習:	授業内容を振り返り学修した内容を整理する。		
13	授業の事例と学習指導(3)(コンピュータとプログラミング)					
	予習:	教科書・資料を読み不明な語句や疑問点について調べる	復習:	授業内容を振り返り学修した内容を整理する。		
14	授業の内容理解(4)(情報通信ネットワークとデータの活用)					
	予習:	教科書・資料を読み不明な語句や疑問点について調べる	復習:	授業内容を振り返り学修した内容を整理する。		
15	授業の事例と学習指導(4)(情報通信ネットワークとデータの活用)					
	予習:	教科書・資料を読み不明な語句や疑問点について調べる	復習:	授業内容を振り返り学修した内容を整理する。		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業ごとの予習・復習時間は、各90分程度を目安とする。 ・ 課題は原則として授業時間内に行うこと。 ・ 履修人数や受講者の理解度および進捗状況に応じて、授業内容や順序を一部変更する場合がある。 					